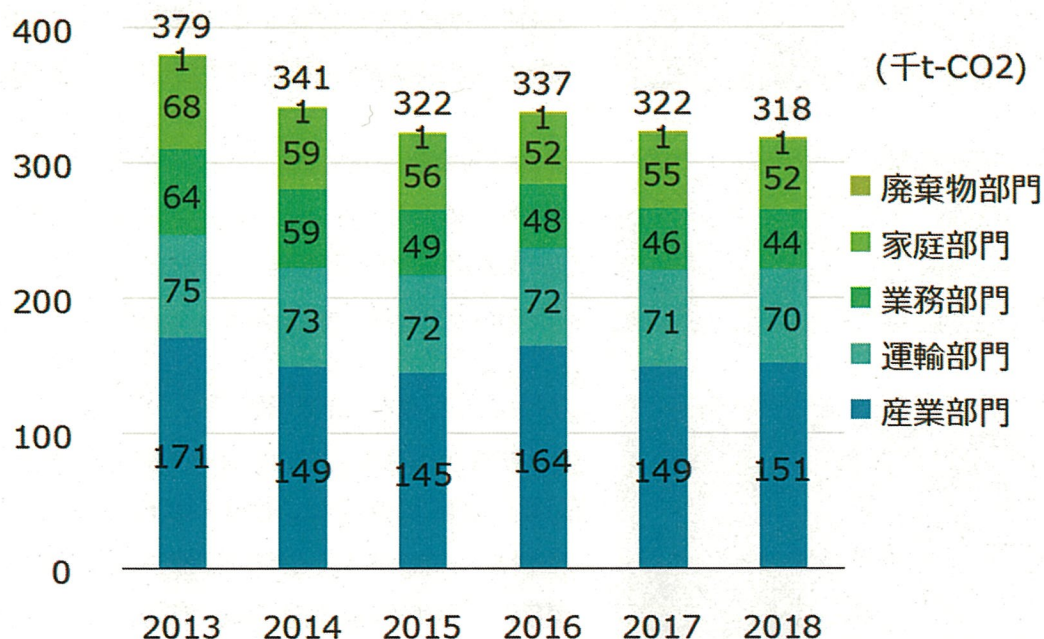


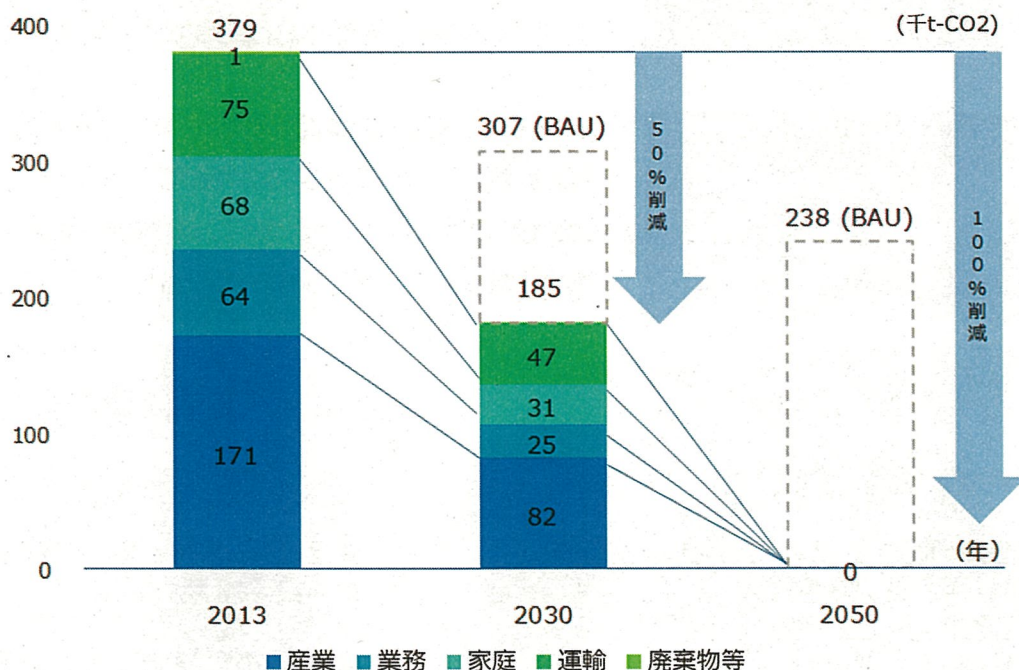
妙高市ゼロカーボン実行計画（概要版）



妙高市ゼロカーボン実行計画は、「生命地域妙高ゼロカーボン推進条例」に基づき、2050 年までの二酸化炭素（CO2）排出量実質ゼロの実現に向けたスケジュールと具体的な施策を明確化し、再生可能エネルギー（再エネ）の最大限の導入を図りながら中長期的に脱炭素化を推進し、持続可能な地域（ゼロカーボンシティ）の実現を目指すための実行計画です。

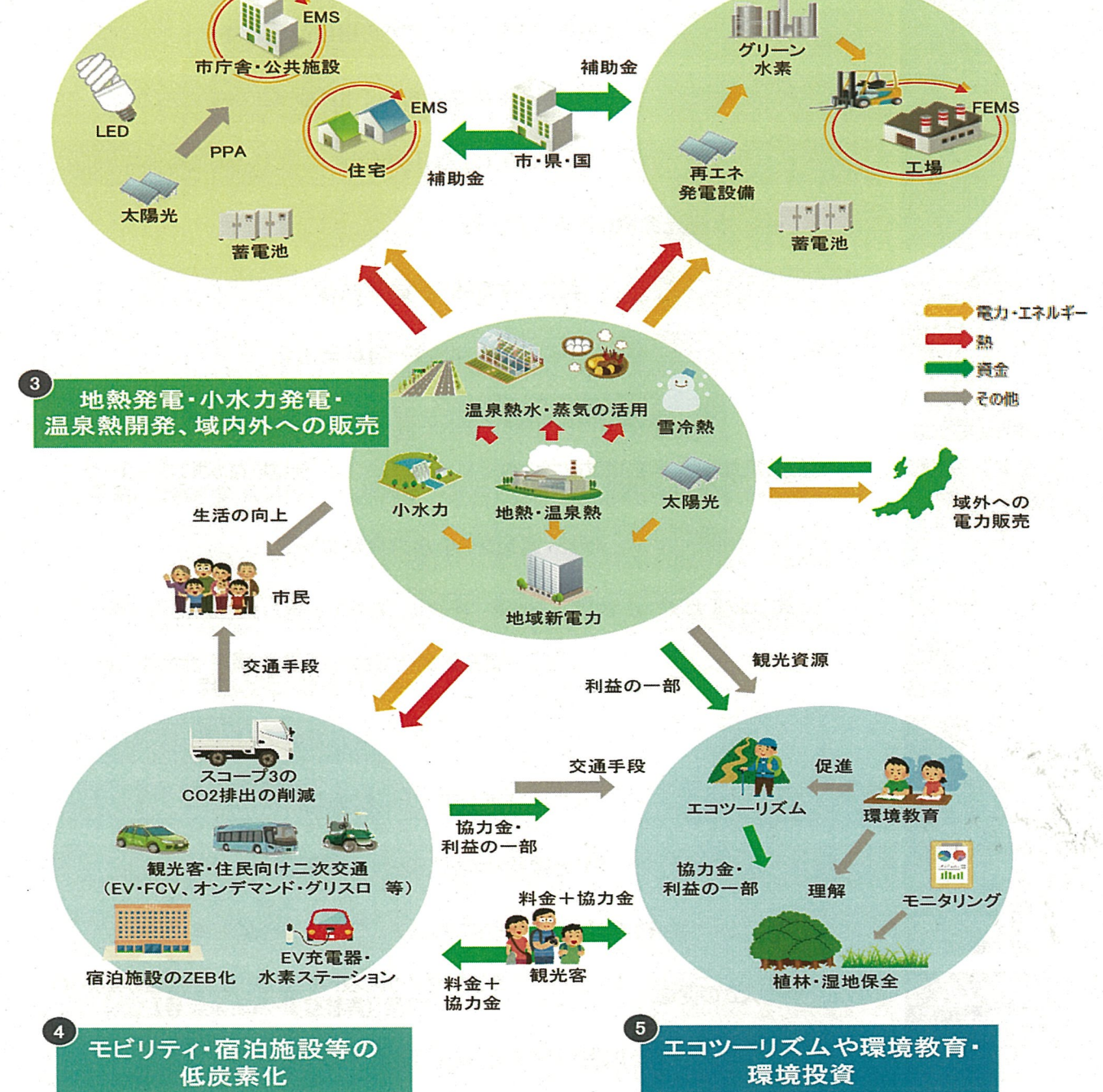


2018 年度における本市の温室効果ガス排出量は 318 千 t-CO2 で、基準年である 2013 年度と比較するとおおよそ 16%減少しています。また、市民 1 人あたりの排出量は、2018 年度は 9.8t-CO2 であり、基準年の 2013 年度の市民 1 人あたりの排出量（10.9t-CO2）と比較するとおおよそ 10%減少しています。



本計画における CO2 排出量の削減目標として、2030 年に 50%（2013 年度比）、2050 年に実質ゼロを設定し、脱炭素化に取り組みます。

生命地域妙高ゼロカーボンモデルの確立



施策： ① ③ ④ ⑤

- 省エネ行動（EMS・LED導入等）
- ZEH・太陽光パネル導入
- 再エネ電力メニューの購入・消費
- 公共交通の利用
- エコリズム・環境教育への参加

施策： ① ② ③ ④ ⑤

- ZEB・太陽光パネル・蓄電池等の導入
- 再エネ水素の活用
- 再エネ電力メニューの購入・消費
- 地元の食材や製品を活用
- 二次交通の充実/EV・FCV等の導入
- エコツーリズムの提供
- 協力金等の環境保全への投資
- 環境教育への参加

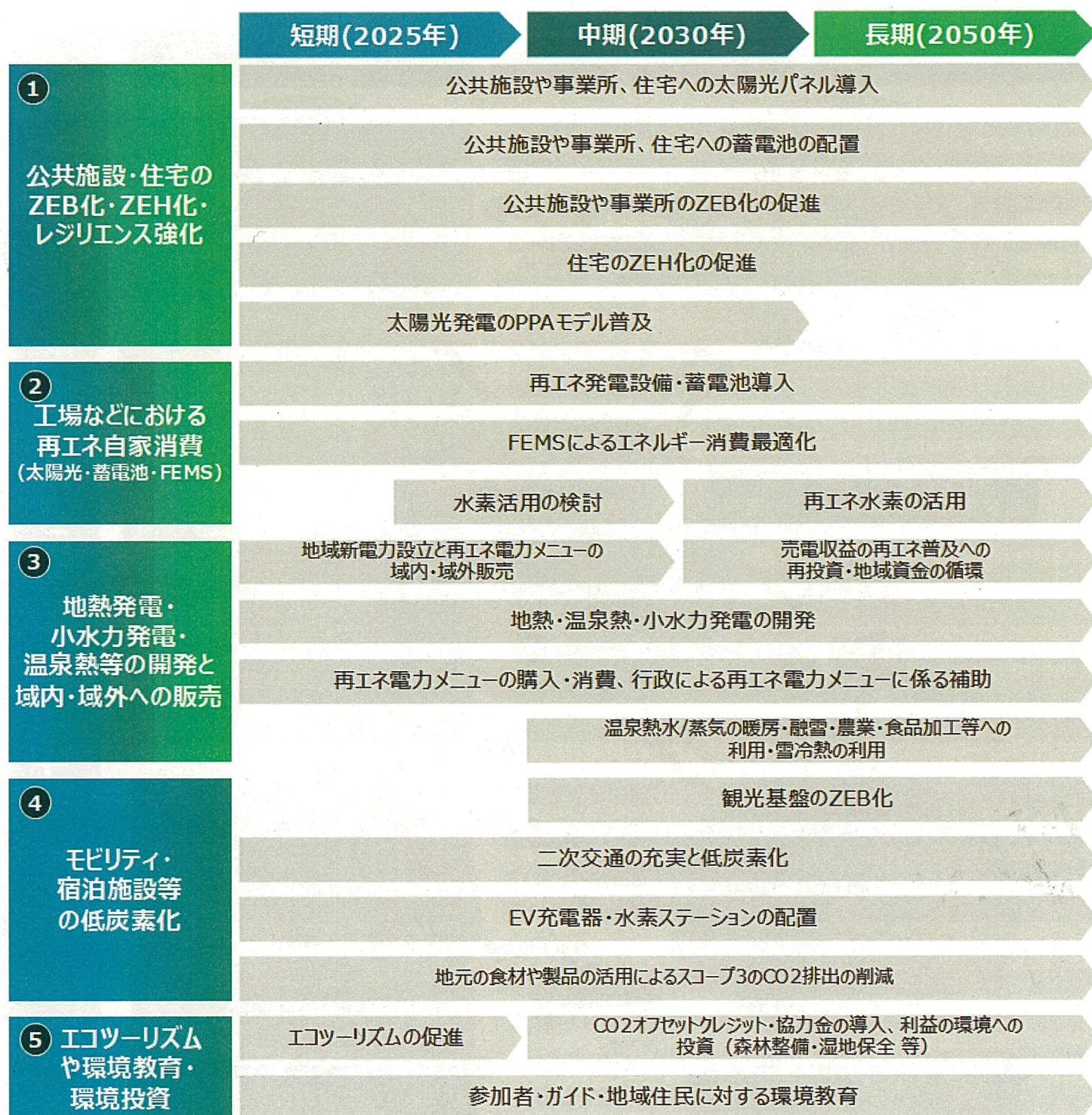
施策： ① ② ③ ④ ⑤

- ZEB・再エネ・蓄電池等の導入
- 補助金の整備
- ポイント付与等による市民・事業者の取組促進
- インフラ整備
- 再エネ地産地消・地域資金循環の仕組みづくり
- 再エネ電力メニューの購入・消費
- エコツーリズムの促進
- CO2オフセットクレジット等の整備・導入・活用

施策： ① ② ③

- ビジネスモデル検討（PPA・ZEH・水素）
- インフラ整備
- 再エネ地産地消の仕組みづくり
- 再エネ発電設備開発・熱供給
- 再エネ電力メニューの域内・域外販売
- 売電収益の再エネ普及への再投資

ゼロカーボン実現に向けたロードマップとアクション（施策）



将来ビジョンの実現に向けて、短期的には足元で実施されている ZEB 化・ZEH 化のさらなる促進や太陽光発電の PPA モデルの普及などを行います。中長期的には地熱・温泉熱・小水力発電の開発などの時間を要する再エネの開発や、再エネ水素の利用等に取り組むことを想定しています。

2050 年のゼロカーボンの実現には各施策に段階的かつ長期的に取り組む必要があります